

青森県より4名のJICA海外協力隊が出発・帰国表敬訪問 経験・技術を活かしてケニア、ブラジル、モンゴルへ

国際協力機構（JICA）は2019年7月、青森県内の3名をJICA海外協力隊としてケニア、ブラジル、モンゴルに派遣します。派遣される3名は、これまでの知識や経験を活かし、途上国で技術支援にあたります。出発に先立ち、下記の日程にて青森県 柏木司副知事を表敬訪問するほか、それぞれの出身地である八戸市、三沢市を表敬訪問します。また、2年間の活動を終え、2019年6月にボリビアから帰国した青年海外協力隊1名の帰国表敬も行います。

青森県出身のJICA海外協力隊への取材・報道・個別インタビューをぜひご検討ください。

表敬するボランティア3名の派遣国、職種、参加動機、抱負などは裏面をご参照ください。

《表敬訪問日程（実施日時順）》

（敬称略）

表敬先	日時・場所	表敬者
八戸市 市長 小林 眞	7月5日（金）13:00-13:15 八戸市役所 市長室	【出発】淡路 侑太、嶋脇 雄一郎
青森県 副知事 柏木 司	7月9日（火）13:30-13:45 青森県庁 南棟二階 第三応接室	【出発】淡路 侑太、嶋脇 雄一郎 久保田 凌 【帰国】加藤 勇太
三沢市 市長 小檜山 吉紀	7月10日（水）13:30-13:45 三沢市役所 市長室	【出発】久保田 凌

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 青森デスク 遠藤久美子
 青森県観光物産館アスパム7階（公財）青森県国際交流協会内
 TEL：080-3140-2129 E-mail：jicadpd-desk-aomoriken@jica.go.jp

※このプレスリリースは、青森県庁記者クラブで配布しています。

《青森県から出発する JICA 海外協力隊/2019 年度 1 次隊》 括弧内は、ふりがな・出身地・年齢 ※年齢は、表敬日現在です

■ 淡路 侑太さん（あわじ ゆうた・八戸市・30 歳）

区分：青年海外協力隊 派遣国：ケニア 職種：青少年活動

通信制高校に勤め、多くの人と出会いました。さまざまな人との関りのなかで、自分も何かに挑戦してみたいと思うようになり青年海外協力隊参加を決意しました。

日本で培った能力を活かして、ケニアの人たちを幸せにしたいと思います。日本とケニアのかけ橋になれるようがんばります。多くのことを経験し、帰国後は日本の教育現場に還元したいです。

■ 嶋脇 雄一郎さん（しまわき ゆういちろう・八戸市・31 歳）

区分：日系社会青年ボランティア 派遣国：ブラジル 職種：文化

囲碁の魅力をブラジルの日系社会に発信したいと思います。また、ボランティア活動を通して自分のステップアップにも繋がると考え、応募しました。

私が帰国した後も囲碁を指導できる人材を育て、一人でも多くの人に囲碁の魅力を伝えたいです。安全には十分気を付け、2年後無事に帰ってきます。

■ 久保田 凌さん（くぼた りょう・三沢市・25 歳）

区分：青年海外協力隊 派遣国：モンゴル 職種：理学療法士

身内が三沢基地内で働いていたこともあり、幼少期から海外への興味がありました。理学療法士という専門性を身につけたこのタイミングで、青年海外協力隊に参加したいと思いました。

モンゴルでは、理学療法の実施、同僚に患者にあわせてリハビリの助言、患者家族への指導法についての勉強会を行う予定です。環境も考慮しながら、患者や家族に寄り添った活動を行いたいです。

《青森県に帰国した JICA 海外協力隊/2017 年度 1 次隊》

■ 加藤 勇太さん（かとう ゆうた・むつ市・28 歳）

区分：青年海外協力隊 派遣国：ポリビア 職種：陸上競技

学生に対して、準備運動の指導や技術の面でアドバイスを行い、教員には陸上競技と器械体操の授業の指導サポートを行いました。また、授業後は陸上競技協会に行き、そこで活動している陸上チームの選手たちへの技術指導や、他の学校の子どもたちに陸上競技・体育の指導も行いました。

今後は日本の学校現場で、ボランティアの経験を活かしていきたいと思っています。外国で経験したことや文化の違い、外国から見た日本の印象などをこれから関わる子どもたちに伝えていけたらと思います。

以上